

第 60 期 決 算 公 告

2023 年 6 月 21 日

愛知県犬山市大字犬山字富士見町 16 番地の 2

株式会社名鉄犬山ホテル

代表取締役 岩瀬 正明

貸借対照表

(2023 年 3 月 31 日現在)

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	112,653,309	流動負債	2,443,109,921
現金及び預金	5,927,192	買掛金	18,386,208
売掛金	73,154,406	短期借入金	2,350,277,955
未収金	1,980,370	未払金	34,062,598
商品	634,018	未払法人税等	856,500
原材料	3,935,630	未払消費税等	19,604,600
貯蔵品	3,899,452	未払費用	12,849,356
前払費用	22,520,243	預り金	1,903,804
その他流動資産	601,998	賞与引当金	2,298,000
		契約負債	2,870,900
固定資産	449,245,925	固定負債	50,840,916
有形固定資産	146,806,923	退職給付引当金	40,265,916
建物附属設備	6,802,503	預り保証金	10,200,000
構築物	0	その他固定負債	375,000
機械装置	3,266,099		
車両運搬具	0	負債合計	2,493,950,837
器具備品	37,189,356	純資産の部	
土地	99,548,965	株主資本	1,803,439,349
無形固定資産	25,699,866	資本金	100,000,000
ソフトウェア	25,699,866	資本剰余金	200,000,000
投資その他の資産	276,739,136	資本準備金	200,000,000
投資有価証券	125,181,416	利益剰余金	2,227,197,310
出資金	130,000	利益準備金	41,400,000
差入保証金	150,442,000	その他利益剰余金	2,268,597,310
その他の投資	985,720	繰越利益剰余金	2,268,597,310
		評価・換算差額等	4,854,293
		その他有価証券評価差額金	4,854,293
		純資産合計	1,932,051,603
資産合計	561,899,234	負債・純資産合計	561,899,234

個別注記表

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

有価証券の評価基準及び評価方法

関連会社株式・出資金 移動平均法による原価法

その他有価証券

市場価格のある有価証券 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法に算定しております。）

市場価格のない有価証券 移動平均法による原価法

棚卸資産の評価方法及び評価基準

商品、原材料、貯蔵品 最終仕入原価法

（収益性の低下に基づく簿価引下げの方法により算定）

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法

無形固定資産 定額法 尚、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

引当金の計上基準

賞与引当金

従業員の賞与の支給に充てるため、支給対象期間に応じた支給見込額を計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務、及び年金資産の見込額に基づき、退職給付会計に定める簡便法により計上しています。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しておりましたが、当事業年度中の定時株主総会において、役員退職慰労引当金制度に伴う打ち切り支給が決議されました。これに伴い、「役員退職慰労引当金」を取崩し、支給済分を除く、打ち切り支給額の未払分については「その他固定負債」に含めて表示しております。

収益および費用の計上基準

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日、以下「収益認識会計基準」という。)等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しています。

その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

消費税等の会計処理 税抜き方式によっております。

2 当期純損益金額

当期純損失 123,757,961 円